

2016年12月26日

富山市長
森 雅志 様

富山市議会日本共産党議員団

市議会議員 赤星 ゆかり

市議会議員 中山 雅之

市議会議員 小西 直樹

市議会議員 吉田 修

2017年度富山市予算に対する要望書

貴職におかれましては、市政の発展、市民生活におけるくらしと福祉の向上に、日頃よりご尽力されていることに敬意を表します。

さて、2017年度の市予算編成に際し、要望書を提出します。積極的に検討され、実現のためにご尽力くださるようお願いいたします。

(地域の自主性が発揮できる、住民自治の富山市を)

1. 合併10年で廃止された「地域審議会」にかわり、地域住民の意見を反映するシステムとして、地域自治区を導入されたい。
2. もっと住民主体のまちづくりをすすめるため、「自治基本条例」を制定されたい。
3. 総合行政センターの廃止の検証、行政組織の見直しと再編については、各地域での住民説明会の開催、パブリックコメント等で、市民の質問、意見に丁寧に応えて、市民参加が進められたい。

(大型施設の建設や外来型に頼らない、住民が主人公のまちづくりを)

4. マンションの大量供給、地元商店が残れない中心市街地再開発事業は、商店街の活性化につながっていない。多額の税金を投入する大型再開発事業を見直し、市民の声を生かしたまちづくりへ転換されたい。今後の市街地再開発事業には、地権者だけでなく、広く市民の意見を反映するシステムを考えられたい。
5. 中小商店へのきめ細かな支援で、商業の活性化を目的に、商売を営んでいる人、または営もうとする人が、「店舗等の改装」や「店舗等でもっぱら使用する備品の購入」に対し、地元業者への発注を条件に、その費用に対して補助する、中小商店への「まちなか商店リニューアル助成制度」を導入されたい。
6. 各商店街の活性化には、地域住民の生活を支える商店構成が必須である。生鮮3品や日常の衣料品など、足りない業種の誘致や出店に支援されたい。
7. フランスから導入した「自転車市民共同利用事業（アヴィレ）」は、だれもが利用し

やすいものではなく利用がきわめて少ない。電気も年間約 10 万 kw/h のムダ遣いである。さらなる税金による新增設は、中止されたい。市民のくらしの視点で検証し、抜本的に見直されたい。

8. 花と緑のまちづくりについて、市電環状線沿線や市役所前通りなどの「フラワーハンギングバスケット」は全体で、約 6,700 万円（2016 年度予算）もかけられており、あり方を見直されたい。一方、国道・県道・幹線道路沿いの植栽などは、手入れが行き届かない部分も見受けられる。市内業者の仕事として、また、雇用対策としても確立されたい。
9. 地域住民にお願いしている街路樹マスの植栽の花植えや水やりは、住民の高齢化や、猛暑の中、水源から遠いなど、きめ細かい世話が無理なところもある。せめて夏場の毎日の水やりを市の仕事として地元業者に発注するなど、住民に無理がかからないよう見直されたい。
10. 「買い物困難対策」について、買い物バス、ミニスーパー、移動販売車など、買い物不便地域を調査し、国や県にも働きかけ、地域の実情にあった方法で支援されたい。
11. 市立公民館の耐震化工事を急ぎ完了されたい。また、人口増加で基準延床面積を大きく下回っている堀川南（45%）、蜷川（49%）、藤木公民館（53%）について、早期の改築に着手されたい。
12. 公民館の使用について、年間通して利用するサークル等の予約は、年間予約ができるように、地域の実情に応じた運用を努力されたい。
13. 市立速星公民館の管理人がいなくなり使いづらくなっている。改善されたい。
14. 一人暮らし高齢者、高齢者世帯の増加で、社会からの疎外・孤立が深刻である。高齢者が地域で気軽に集える憩いの場を、空き家の活用などで実現されたい。
15. 中央通り商店街にあった街なかサロン「樹の子」は、高齢者や乳幼児連れのママたちなど、街に出かけてきた人や周辺住民ら、多くの人が気軽に立ち寄り休憩できるコミュニティ施設として親しまれ、利用者は年間約 6 万人にまで増えていた。また、1 階ではミニチャレンジショップや地産地消の野菜等直売所、読書コーナー、車イスでも使いやすいトイレもあり、2 階では様々な趣味やカルチャー教室も開催され、知らない人同士が出会い、貴重な交流の場にもなっていた。利用者の存続を願う署名も提出されたが、一方的に廃止された。手芸教室などに通っていた街なかに住む高齢者等、外出機会が減ったという人もいる。元利用者等の意見も聴き、代替施設等、街なかに高齢者、障がい者、子連れママ等、だれもが気軽に利用しやすい街なかサロンの整備を検討されたい。
16. まちなかでミニシアター系の映画が観られる貴重な映画館として親しまれてきた「フォルツァ総曲輪」を再開されたい。

（雇用を増やし、地域で循環する持続可能な地域経済の豊かな発展を）

17. 富山市の農水産物加工で 6 次産業化を推進し、富山市の食のオリジナルブランドを確立されたい。
18. 地元産農水産物の直売や、食事も楽しめる「道の駅」が人気であるが、市内には細入

の1カ所しかない。新たな富山市、各地域の魅力満載の「道の駅」を新設できないか研究されたい。

19. 小水力発電の促進など自然エネルギーの積極的な導入で、地域経済の活性化をはかられたい。
20. 農業、そして地域経済全体に壊滅的な打撃を受けるTPPに参加しないように国に働きかけられたい。
21. 大震災からの復旧・復興を遅らせ、中小企業、国民の暮らしに大きな打撃を与える消費税の増税は中止するように、国に働きかけられたい。
22. 富山市が発注する仕事は、時給1,000円以上になるようにされたい。
23. 「公契約条例」を制定されたい。
24. 公共職業訓練は国の責任で行うように求め、富山市職業訓練センターへ、県・国の支援を求められたい。
25. 高齢者雇用相談の事業は、ハローワークと連携して、市役所での就職相談、支援の事業を強化されたい。
26. 制度融資の金融機関の貸し渋りに対し適切な指導を行ない、「預託方式」に戻されたい。条件変更や借り換え時の保証料や手数料の負担軽減措置を講じられたい。
27. 「緊急経営基盤安定資金」の取扱期間を延長し、国に対しては金融円滑化法を延長し、恒久法とすることを働きかけられたい。
28. 経済波及効果が高い「住宅リフォーム助成制度」を実施し、中小業者・企業の仕事確保を支援されたい。
29. 小中学校、幼稚園、保育所、公民館等の公共施設の耐震改修を急ぎ、国にも予算の拡充を強く求められたい。
30. 小中学校のグラウンドやプールなど屋外教育環境の整備を拡充されたい。
31. 地場産材が住宅の建築・リフォーム等に用いられるよう地産地消を奨励し、「地域材活用促進事業」を森林整備、地域の建設業支援の力となるように拡充されたい。
32. 地場産材を活用した公共施設の木造化・木質化の具体化計画を立て、促進されたい。
33. 小中学校、幼稚園、保育所、公民館、市営住宅等の公共施設の新築、改築時には、木質ペレットボイラーの導入や、地元産木材の使用を義務化されたい。
34. 市役所1階の食堂の椅子は、脚が外に向いているため足が引っかかりやすく危険。市内産間伐材を使った椅子・テーブルに更新できるように、市としても事業者働きかけ、支援されたい。
35. 身近な河川、橋梁、生活道路、歩道等の改修工事を増やし、地元中小業者・企業の仕事を確保されたい。
36. 中小商工業の振興を柱に、国の中小企業憲章を具体化し、「地域経済・中小企業振興条例」を制定されたい。

(国保、介護、社会保障などの要望)

37. 市役所エレベーター内に（ホテルのエレベーターにあるような）、ちょっと腰掛けられる椅子を設置されたい。

38. 国保の公的医療費の抑制や自治体業務の効率化をねらった「広域化・都道府県単位化」に反対して、国に対して、国保への国庫負担金の引き上げを働きかけられたい。
39. 保険料の引き上げを抑えるために、一般会計からの繰り入れを増やし、県に対しても国保への財政支援の増額を働きかけられたい。
40. 子どもの医療費無料制度は所得制限を止めて、通院を含め中学3年生まで現物給付で窓口無料にされたい。国に子どもの医療費無料制度の創設を求め、県に対象年齢拡大を求められたい。
41. 富山市の福祉医療費助成制度を後退させず、窓口無料の現行制度を継続、拡充されたい。富山県に対し県単独医療費助成制度を継続・充実するよう要請されたい。
42. 老人福祉センターは、入館料100円の導入によって大幅に利用者が減った。入館料徴収を見直し、だれもが気軽に利用できる老人福祉センターにされたい。
43. 国保法第44条の窓口一部負担の減額免除について、国民の権利として尊重して、実際の運用が広がるように徹底されたい。
44. やむを得ない事由により保険料を滞納している「後期高齢者」には、資格証明書も短期保険証も交付せず、引き続き健康保険証を発行されたい。
45. 安心の介護保障の実現へ、介護報酬の大幅な引き上げを国に求められたい。
46. 「富山市まちなか総合ケアセンター」は、乳幼児から高齢者まで、福祉サービス等を中心に総合的に提供する施設として期待される。その運営にあたっては、医師会・周辺の開業医、介護事業所等との連携を重視し、円滑に初期の目的が達成されるようつとめられたい。
47. 介護保険の「総合事業」への移行については、何よりサービスが後退しない、専門職のかかわりが必要な利用者の実態と要望を尊重することを原則に、利用者中心で行うこと。
48. 市単独の「生きがい対応型ディサービス事業」（呉羽と大沢野の2カ所）は、閉じこもりを防ぐ役割を果たしている。事業として持続可能となる「委託料」の引き上げと、「認定基準」の弾力的な運用をはかること。
49. 32カ所の「域包括支援センター」が地域での結びつき、連携を深め、その役割を發揮するため、職員の増員、委託料を増額されたい。
50. 介護職員が働き続けることができる大幅な待遇改善へ、公費による抜本的な財政支援を拡充するように、国や県にも働きかけて推進されたい。
51. 「障害者総合支援法」の見直し、改定については、障害者の生活と尊厳を守り、負担の軽減となるように、国に働きかけられたい。
52. インフルエンザ予防接種を、乳幼児、学童、高校生、高齢者の接種料金を無料化し全員が受けられるようにされたい。
53. 妊産婦検診は必要な回数は無料で受けられ、安心して出産できるようにされたい。
54. 生活保護の申請については、生活に困っている人が安心して相談できるように、相談スペースを広げ、人員体制を増やされたい。申請書類は受付で誰でも手にできるように常備して、先ず申請を受付けること、必要な書類は後からでも良いことを徹底して、申請権を尊重されたい。

(教育、保育、通学路、学童クラブ、給食などの要望)

55. 「富山市福祉奨学資金給付事業」は、「貧困の連鎖」を食い止める施策の一つとして評価できる。対象者の拡大など、さらなる拡充をはかられたい。また、国の「給付型奨学金制度」の拡充を働きかけるとともに、それを補完する市単独「給付型奨学金制度」を創設されたい。
56. 就学援助制度の「助成基準」を維持するとともに、周知に努め、必要な子ども世帯が受けることができるようにされたい。
57. 保育料は、特に3歳未満児をもっと安くして、安心して子育てできる環境をつくられたい。
58. 保育料の第3子無料化を私立保育園にも適用されたい。
59. 「待機児童ゼロ」と言われているが、「人気のある」保育所など、希望する保育所に入れない場合もある。希望する保育所に入れるように、必要な保育所数、配置を調査し、市の責任で整備されたい。
60. 富山市児童相談所の開設計画を明示されたい。厚生労働省が今年4月に決定した「児童相談所強化プラン」のなかでも、中核市における独自の相談所設置が重視されている。
61. 全小学校区に児童館を建設するように、年次計画を立てて建設されたい。「地域児童健全育成事業」は従来、児童館のない地域での児童館事業の補完ともされてきたが、「地域児童」対象児童を留守家庭児童とすることで、学童保育のニーズを一定おぎなう一方、全児童対象の遊びの場の確保の必要がある。梅雨時や冬場でも、子どもたちがのびのびと身体も動かし、異年齢集団をつくって遊べる児童館は大切です。
62. 子供が安心して遊びまわれる公園を増設されたい。
63. どの子ども学ぶことが楽しくなる学校づくりをすすめて、小中学校全学年での35人学級を実施されたい。
64. 子どもたちに競争と格差をおしつける「全国一斉学力テスト」の参加はやめ、結果の公表もやめられたい。市独自の学力テストもやめられたい。学校選択制は廃止し、基礎学力が身につく義務教育がどの学校でも等しく受けられるようにされたい。
65. 学校に行けなくなっている「不登校」も、児童生徒が安心して通え、一人ひとりの子どもの状態に応じて学習や運動や生活習慣を習得できる、多様な居場所の整備を検討されたい。
66. スクールソーシャルワーカーのさらなる増員と、常勤化、交通費や電話通話料等の実費支給も含めた報酬額アップなど、処遇改善を図られたい。
67. 「放課後児童健全育成事業」(学童保育)は、市が責任を持って設置する委託事業を基本とし、全校区で実施されたい。低所得者の共稼ぎ世帯など、本来必要な世帯が負担困難で利用できない。低所得者の利用料の減額分について、補助金の加算制度を創設されたい。
68. 放課後児童クラブの役割を担う「子ども会」の指導員の時給を、1,000円以上に引き上げられたい。希望する指導員の社会保険の事業所負担金を、富山市で負担されたい。

69. 「こども会」の利用児童数が1日40人を超えているところの対策を急がりたい。また、専用室に隣接する学校の体育館やグラウンドが利用できなければ、専用室に「缶詰」状態となり、子どもたちが身体を動かしてのびのび遊ぶことができない。学校施設を利用できるよう、また、子どもたちに目が届く指導員が配置できるよう改善されたい。
70. 猛暑から子どもたちを守るために小中学校の普通教室をはじめすべての教室、保育所の子どもたちの居室にエアコンを設置されたい。民間保育所に対して、エアコン設置の補助をされたい。
71. どの地域でもゆとりある環境で子どもたちが学べるよう、生徒数が増えている小中学校の増改築を急がりたい。(堀川南小学校、速星中学校)
72. 学校給食の単独校調理場への民間委託の導入は見直し、市の調理員を必要数採用し、引き続き市直営の自校方式を維持し、安心安全でおいしい給食の提供を続けられたい。小学校の学校給食は顔が見える、災害時にも温かい食事を提供できる自校方式を尊重し、民間委託でなく、市の責任で運営されたい。
73. センター方式の学校給食はいずれ見直し、自校調理方式を基本にされたい。
74. 学校栄養教諭や栄養職員を各校に配置されたい。
75. 「学校給食運営委員会」や「献立作成委員会」、「物資選定委員会」に、PTA代表者だけでなく保護者の代表を増やし、食育に意識ある保護者がもっと参加できるよう公募枠も設けられたい。
76. 学校給食用物資標準規格や物資の成分等を市教委のHPに掲載するなど、情報公開を進められたい。
77. 学校給食、幼稚園・保育所の給食は、地産地消と食育のために、富山産の農水産物の利用をさらに拡大されたい。輸入食品を極力使わず、加工食品や調味料も含めて県産国産優先を意識して使用されたい。地産地消が進むよう、市内全校統一献立のあり方や、一括購入の食材の購入単位についても、保護者らとともに考え、見直しされたい。
78. 学校給食には、遺伝子組み換え食品不使用、無添加、低添加物、などの方針を明確化されたい。
79. 学校給食の献立で、食材からの調理より添加物等の使用が多くなるできあいのおかず(加工食品)の使用を極力減らされたい。
80. 和食——日本人の伝統的な食文化の食育を推進されたい。
81. 米等からの輸入小麦を原料としたパンや麺の使用を減らし、和食を中心としたバランス良い食事、米の消費拡大のためにも、米飯給食の回数を現在の3、5回から、さらに増やされたい。
82. 現在の富山市の学校給食の食器は、もっとも低価格のシリーズを使用しており、県内他自治体と比べても、貧相と言わざるを得ない。和食文化継承にふさわしいものに、富山市の歴史・風土・伝統文化を感じられるオリジナルなものに、改善されたい。
83. 児童生徒にとって家庭が複雑な状況にあるほど、1日の食事の中で学校給食の役割が重要になっている。保護者の経済状況等により、給食費を納入できない児童生徒がづらい思いをしたり、給食が食べられないことがあってはならない。どの子も安心して

温かい給食が食べられるよう、学校給食費の無料化を検討されたい。

84. 小中学校の「通学路」の危険個所について、あらためて全市を対象に「再点検」を実施し、順次、改善をはかられたい。
85. 「小型除雪機」を所有していない小中学校（小学校 30 校、中学校 6 校）へ、市費で順次、配備されたい。

（市民の命と財産をまもる防災対策の抜本的拡充、安全・安心なまちづくりを）

86. 災害の危険性についての情報提供を住民に責任をもっておこなうのは地方自治体の責務です。津波ハザードマップについては配布だけではなく、各地域での説明会を徹底されたい。
87. 地域防災計画は科学的で総合的な被害想定調査にもとづき、過去の災害にも学び、その時の知見を総動員して最大規模の被害想定を設定して、計画を策定されたい。
88. 呉羽山断層帯の位置確定と、津波被害想定にもとづき、避難所の見直しをされたい。
89. 活断層や津波被害想定などの最新情報を盛り込み、富山市地震防災マップを修正し再発行されたい。
90. 民間のビルと協定を結び津波避難施設の指定を具体化されたい。また、高い建物が無い沿岸部での津波時の避難方法については、津波避難タワーの設置、「シェルター」などの方法も含め、住民とともに早急に研究・検討されたい。
91. 木造住宅の耐震化工事補助について、一部屋だけでも助成を導入されたい。
92. 災害時要援護者支援制度は市の責任ですべての要援護者の登録を徹底して、個別支援計画を作成できるようにされたい。関係機関共有方式により対象とする要援護者の情報を共有したとりくみをすすめられたい。
93. 北陸電力と政府に対して、原発は即時廃止を決断して、志賀原発直下の「活断層」の厳正な調査と、再稼働を認めず、廃炉を強く求められたい
94. 空気中の放射線量を市独自に測定する体制を確立し、市民に情報提供されたい。水道水、下水汚泥についても定期的な測定・監視と公表を継続されたい。また、学校給食、保育所などの給食についても測定し、産地を明らかにし、市民に情報提供されたい。
95. 志賀原発から 50～60km の富山市においても、緊急時の安定ヨウ素剤配布ができるよう備えられたい。
96. 防災無線の整備を急ぐとともに、携帯電話のエリアメールやパソコンのメール機能の活用など、地震・台風・大洪水など災害・避難情報を速やかに市民に伝達する方法を強化されたい。
97. 非常用の食糧や水、毛布などの備蓄量を抜本的に増やされたい。また、赤ちゃん用のミルクやおむつ、女性用生理用品など、被災地に学び、備蓄品目の内容を拡充されたい。
98. 東日本大震災の教訓もふまえ、公務公共サービスの拡充のため、「行政改革」「定員適正化計画」にもとづく職員の削減計画を見直されたい。またこれ以上の「指定管理・民営化」は見直し、検証されたい。

99. 木造住宅の耐震改修を促進するため、補助制度の拡充など思いきった対策を講じられたい。また寝室や居間など1室の改修、部分改修も研究し、市の補助も導入検討されたい。

100. 富岩運河のダイオキシン対策について覆砂方式には不安の声がある。ダイオキシン類の分解等で完全除去されたい。地震・津波被害も想定して万全の工法とされたい

(公共交通の拡充、除雪対策、公営住宅などの要望)

101. 「おでかけ定期券」は、JRやあいの風とやま鉄道も利用できるようななど、利用できる時間帯とエリアを拡大されたい。とくにバスを降車する時刻が17時を過ぎると使えなくなり、地域間で格差が大きい。乗車する時刻を基準に変更されたい。病院で検査の予定が入ると朝早く出かけることになる。時間外のためバス料金負担となるので拡大していただきたい。

102. 「おでかけ定期券」について、・買い物などでの利用も多い地鉄稲荷町駅で乗り降りする場合100円となるよう、尽力されたい。

・JR 高山線での利用可能にしてほしい。特に、婦中町神保地区では、地鉄の長沢経由八尾線が廃止となっている。

103. 通院やスーパーへの買い物など高齢者の乗降が多い「市民病院口」は、屋根付きバス停とベンチを設置されたい。現状は、雨、雪、強風、真夏の日射に晒されてバス待ちをするしかない。

104. 富山地方鉄道不二越上滝線の活性化対策について

・利用者・住民の安全確保と利用者増のため、朝菜町駅、上堀駅のアクセス改善が早期実現するよう、住民、地鉄、国など関係機関とともに、具体的取り組みを進められたい。

・運賃の値下げ、例えばライトレールのように、一律200円、高齢者は100円等、わかりやすく利用しやすい運賃に引き下げされたい。

・南富山～朝菜町間に新駅を設置されたい。

・朝菜町駅の東西両側に、屋根つき自転車置場を整備されたい。・老朽化している駅舎や待合施設の建て替え、トイレを設置されたい。

・自転車車内持ち込みを、平日もできるようにされたい。

・鉄道線電車による電鉄富山駅方面への速達性を維持しながら路面電車の乗り入れ可能性調査を進められたい。

105. 市民参加のもとに、鉄軌道を軸に路線バス、フィーダーバス、コミュニティバス等を組み合わせるなど、公共交通の再生と充実を図られたい。コミュニティバスの運行範囲を広げ、運行本数を増やされたい。

106. フィーダーバス（岩瀬浜～水橋漁港前）のミューズ迄の延伸運行されたい。

107. フィーダーバス（岩瀬浜～水橋漁港前）の浜黒崎、大広田の県道1号線南側住宅地の巡回運行されたい。

108. ライトレールに接続している蓮町～四方間のフィーダーバスについて、より利用価値が高く、利用者増が見込める和合地域巡回運行など地域の要望を調査して、改善されたい。

109. まいどはやバスの中央ルートダイヤが変則的になってから、時間がわかりにくくなり利用が減った。いつバス停に行ってもイライラせずに待てる、わかりやすいパターンダイヤに再変更されたい。
110. まいどはやバスは、柳町や稲荷町から富山駅方向へ出やすいよう、清水町ルートの方針も検討されたい。まいどはやバスの新川原町バス停は、以前の障害者施設の前に戻し、そこから、北新町の大阪屋ショップ前を経由するルートに変更されたい。
111. まいどはやバスの北新町・大阪屋ショップ前バス停は、道幅が狭く、バスを待つ人や乗り降り時に危険なので、上記 92 と合わせて改善を検討されたい。
112. 歩道除雪を徹底されたい。車道の除雪でバス停に雪が押し付けられることがないようにされたい。
113. 高齢者の一人暮らし、高齢者世帯の除雪、屋根の雪降ろしを支援されたい。降ろした雪や敷地内の除雪にも支援されたい。
114. 市営住宅の入居について保証人の確保が困難な場合は、条例に基づき「特別の事情があると認めるもの」と判断して入居を認められたい。国の通知で「本人に家賃の支払いその他賃貸借契約に基づく債務の履行について誠意と能力があると認められた時は、保証人は必ずしも要しない」とあり、通知をふまえて一部の団地に限らず対象を広げられたい。
115. 雇用促進住宅について、廃止方針を撤回し、高齢者や震災避難者等で転居が困難な入居者が安心してすみ続けられるように国へ働きかけられたい。

(だれもが気軽に使えるスポーツ施設の充実を)

116. パークゴルフの人気の高まり、市内パークゴルフ場は順番待ちしなければ、予約できないときもある状態になっている。公共交通の便利な中心部にも、パークゴルフ場を整備されたい。たとえば、地鉄稲荷町駅が近い稲荷公園内に整備すれば、公共交通も便利で、電車やまいどはやバス利用者増も期待できる。
117. 富山市南部にパークゴルフ場を整備されたい。
118. 八尾の神通川水辺プラザのパークゴルフ場はよく利用されているが、上流の「さくらコース」はトイレが遠く、高齢者・女性のみなさんはとくにたいへんと訴えられている。さくらコースのすぐ側にもトイレを設置されたい。
119. ストリートスポーツパーク (NIX スポーツ・アカデミー) については、パーク実現にまで尽力し、オープン後もがんばっている各競技の関係者や利用者・若者らの意見を取り入れて、今後の運営方針をつくりあげられたい。

(各地域からの要望)

120. 富山駅から城址公園までのカラス対策に全力を尽くされたい。
121. 古志の松原の松くい虫対策を県と連携し一気に強力に行ってください。*現状では根絶することができません。
122. 古志の松原の植樹を促進してください。
123. 県天然記念物「古志の松原」と浜黒崎の松並木の保存と、PR に努められたい。
124. 市周辺地域の公的施設の廃止・統合計画について、大山・大沢野文化会館が条例で廃

- 止されたが、「住民は反対だ」など地域の声が出ているところもある。地元の合唱団や劇団の公演の場所、生け花などの高齢者の生きがい教室の場として、ぜひ再検討されたい。
125. 地域の獅子舞、雅楽など伝統芸能を支援する文化財保護事業を新設されたい。
126. 大沢野、大山、婦中の地域活性化イベントへは、歴史と文化を大事にした特色ある地域づくりとして重要である。地域の活性化に苦勞されているみなさんの声をよく聞いて、必要な支援をされたい。
127. 石坂公園の整備等について早急に実施されたい。
- ・石坂公園をグランドゴルフがやりやすいように、ローラー等で地ならしされたい。ゴルフボールが草に隠れたり飛ばないことのないように、除草は短くこまめに実施されたい。
 - ・公園南側の金網フェンスの破損が著しい。金網の修理・整備、樹木の伐採・剪定等されたい。
 - ・公園のトイレを水洗に、男・女別々にされたい。
 - ・洗面台を設置されたい。
 - ・公園内にトイレ・清掃用具、グランドゴルフ・テニス道具等入れる物置を設置されたい。
 - ・公園内に街灯を設置されたい。・公園の入り口の道路東西に看板を設置されたい。
128. 茶屋町9班地内、長越保雄宅と須沼元明宅間の排水路の陥没は危険な状態であり、早急に整備されたい。
129. 堀川南小学校の児童数増加にともない、普通教室にするスペースが足りなくなっており、体育館のミーティングルームまで授業に使っている。また、一つしかない音楽室や狭いコンピュータ室など、子どもたちがゆとりをもって学習できるよう、校舎増築を急がれたい。また、オープンスペースも子どもたちと学校にとって大事なスペースであり、今後も確保されたい。
130. 堀川南小学校への通学路の拡幅と安全な歩道の整備が早期に実現するよう、さらに尽力されたい。
131. 堀川南小学校のグラウンドは、水はけが悪く、雨で表土の砂が流されたり、小石がたくさん出る。改善が必要なグラウンドであり、早期に整備されたい。
132. 一級河川冷川について、新たな対策の実施・検討も含め、浸水被害が一日も早く解消できるよう、引き続き県や関係機関とも連携し、取り組みを強化されたい。秋吉、秋吉新町地域一体の抜本的な浸水対策を進められたい。
- ・宮路川、柳川の河川改修を早期に進められたい。
 - ・部分的な河川や水路の改善、壁のかさ上げ、調整池の整備、バイパス整備、水門の操作、上流の農業者への協力依頼など、あらゆる可能性を検討し、河川改修の完了までにも浸水被害の防止に務められたい。
133. 今年も、下富居2丁目で床下浸水が発生している。用水の改修を急ぐとともに、地下貯水池の整備を含めて抜本的対策を行われたい。
134. あいの風とやま鉄道の新駅設置を早期に行うとともに、県道八幡田・稲荷線下富居1丁目交差点までの市道に歩道空間を確保されたい。

135. 「あいの風とやま鉄道」呉羽駅北側地区の開発について、住民、「あいの風とやま鉄道」、県と連携し「あいの風とやま鉄道」呉羽駅北側地区の開発を推進されたい。また、東富山駅周辺の開発、願海寺駅の新設についても、同様である。
136. 都市計画道路東岩瀬線城川原駅前交差点からライトレール踏切までの市道は、大阪屋城川原店の出店で、歩行者が増えている。特に、南側の用水に完全に蓋をかけ、信号柱を移動し、歩道空間を確保されたい。
137. 都市計画道路「綾田北代線」の全線開通（準用河川・馬渡川～市道・石坂安養坊線間の整備促進、指導・石坂安養坊線～都市計画道路・北代線間の整備計画策定）を促進されたい。
138. 三菱レーヨン東側の田畑新町、古志町方面の三叉路が夜間・雨天時に解りにくいので三菱レーヨン側に照明又は反射式の道路標識を設置されたい。
139. 田畑北部交差点の西側に歩道を整備されたい。通学路に交差点から約15mだけ歩道がありません。
140. 八ヶ山、石坂線のバス専用道路について、整備されたい。
141. 八ヶ山グランド整備、ちびっこ広場の遊具等を整備されたい。
142. 打出スポーツ公園に温水プールを建設されたい。近辺に当施設がなく、近隣他市や遠方の市内施設を利用している。富山市総合計画の公園施設整備計画で実現されたい。
143. ライトレール運行により廃止となった岩瀬、富山市北部地域から永楽町・城北町・柳町を經由して中央通り・西町・総曲輪・富山駅前に直通で行けるバス路線は、市民のくらし、まちづくりの重要な路線であり、復活するか、代替するバスを検討されたい。
144. 上飯野新町を通るバスが、朝夕各一本であり、増便を働きかけられたい。
145. 国道8号線の豊田新屋立体事業については、地元で反対意見も多い。事業の中止、再検討を国に働きかけられたい。
146. 国道8号線高園町交差点改良は、8号線高架化事業と切り離し、北側の市道が可能な限りまっすぐ8号線と交差できるように改良を検討して、早急に実施されたい。
147. 豊田小学校の通学路の充実をはかられたい。豊田小学校正門前にいたる市道を新設されたい。県道八幡稻荷線の横断は、豊若町3丁目地内に信号と横断歩道を設置されたい。
148. 蓮町県職員住宅の跡地について、馬場記念公園やライトレールと連携した活用方策について、県に積極的に働きかけられたい。
149. 馬場記念公園にヘルン文庫記念館を建設するなど、積極的な整備活用をはかられたい。県道蓮町新庄線の拡幅を見越して、公園を富岩運河まで広げ、運河と一体的な整備、活用をはかられたい。
150. 富山市奥田賃貸住宅の耐震補強工事は早急に実施するように、耐震補強工事、改修工事に際しては、家賃の引き上げを行なわないようにされたい。
151. 城ヶ丘市営住宅の屋根の改修及び外壁の汚れが目立つところは、塗装のリニューアルについて、年次計画を明らかにして早期に実施されたい。
152. 上飯野新町の上水道が過去に破裂している。更新されたい。上飯野新町の下水道管の調査をされたい。
153. 速星中学校の校舎増築にともない、給食室が取り壊され、旧婦中町時代から維持して

きた自校調理の給食から、初めてセンター方式に変更された。児童生徒、保護者、教職員の意見をよく聴き、将来ふたたび自校方式の給食が提供できるよう再検討されたい。